

文化センター周辺 分譲で人口増は



石川眞男



町長

800人の人口増を 目指す

質問 文化センター周辺分譲地売却により、どの程度の人口増を見込んでいるか。

答弁 町長 全体計画では6年から8年ほどで完売し、働き盛り、子育て盛りの方を中心に約800人の人口増を目指している。

質問 芝根地区での住宅団地構想も必要ではないか。

答弁 町長 人口減少が進む中、事業として成立するか、文化センター周辺事業の進捗等を踏まえながら考えていきたい。



建設・分譲が進む住宅団地

飲食店の増加のための策を講ずるべきでは

質問 観光の町の取り組みとして、また、コミュニティー

維持の観点から町内の飲食店がバランスよく配置される必要がある。町が企業誘致並みに力を入れ、出店を支援すべきと思うが。

答弁 町長 創業者融資保証料補助及び利子補給の支援

制度を活用し、商工会や金融機関、町内企業と連携し支援したい。

354号バイパス沿線は小規模商業用地に

質問 地域形成型道路としての354号バイパス沿線

は、特定流通業務施設ではなく、雇用や税収、地域の活性化を勘案し、小規模商業用地とすべきと考えるが。

答弁 副町長 354号バイパスをどう生かし、町の活

性化につなげていくかを研究していきたい。

道徳の教科化と評価について問う

質問 道徳の教科化につき、子どもたちの価値観を評価

することは難しく、一定の方向に誘導しかなないと危惧するが。

答弁 教育長 道徳が教科化された背景には、いじめの

問題があるが、その指導が読み物教材における登場人物の心情理解に偏ったりするなどの課題が指摘された。そのため、子ども一人一人が自分ならどう考え、どうするかを問う「考え、議論する道徳」へ転換することとなった。

道徳の評価は、子どもがいかにか成長したかを受け止め、励ましていく個人内評価で、数値的評価ではなく、道徳性の成長を、授業による発言や記述からとらえ、文章で記載し、受験に関する内申書には記載しないこととしている。

公共用地の管理と 現状は



渡辺俊彦



町長

道路、水路の維持管理は 適切に実施

質問 町内には道路沿いに雑草が生い茂っている場所が

随所に見受けられ、交通や景観への支障になると思うが、現状と対策は。

答弁 町長 町が管理する道路や河川の主要箇所については、年2〜3回程度除草業務を委託している。限られた予算の中で交通や景観に支障をきたさないよう取り組んでいく。

質問 農業用水路の端に繁茂した雑草や雑木への対応

は。
答弁 経済産業課長 多面的機能支払交付金事業の活動組織が中心となり、草刈りを実施している。大きな雑木等で処理が困難な場合には、連絡をもらえれば町で対処する。

また、刈った草や枝木等はクリーンセンターに相談してもらえば受け入れはできる。
質問 農業用排水路の管理状況は。



雑草木が繁茂する水路

答弁 町長 農業者や地域の方、多面的機能支払交付

金事業に基づく活動組織や水利組合による活動の中で、各ポイントや管理を行っている。

質問 多面的機能支払交付金事業

業で対応できない水路端の草刈りについて、関係者に指導等を行っているか。

答弁 都市建設課長 町から草刈り等についてのお願いはしていない。

スマートーC周辺開発への地権者の反応は

質問 高崎・玉村スマートーC

周辺については20ヘクタールの開発計画と聞いている。地権者に計画の通知を送ったようだが反応は。

答弁 町長 産業団地計画の意向調査を地権者65名に郵送し、56名から回答があった。

調査内容は「産業団地計画に賛成か」「土地を提供いただけるか」「価格はどの位を考えているか」というもので、「計画に賛成か」には70%程度の方が賛成で、20%程度の方が「どちらでもない」という回答だった。

質問 調査の進捗状況と今後のスケジュールは。

答弁 都市建設課長 概略設計に向けての調査を行い、今年度に概略設計を実施する。可能であれば、今年度中に説明会を行いたい。